

会計名		中心市街地活性化推進団体支援事業				担当部	都市整備部		
一般会計						担当課	まちづくり推進課		
款	項					目	担当係	まちなか活性化係	
7	1					1			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	市街地の整備・改善						
	目的	中心市街地を活力と魅力あふれるまちとするため、中心市街地活性化推進事業に対し支援を行い、中心市街地の活性化を推進する。		主たる内容	○中心市街地において、市と協働して取り組む活性化事業（ワークショップ運営・賑わい創出事業など）に係る費用として、その担い手となる推進団体に対する補助				
	位置づけ	関連計画	中心市街地活性化基本計画						
		根拠法令	中心市街地活性化法						
		対象者	商工会議所ほか		事業期間	平成16年度～平成28年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・中心市街地活性化推進団体に対し、補助金を交付 中心市街地活性化委員会運営他（刈谷商工会議所） ワークショップ運営（刈谷駅前商店街、NPO法人かた〜ら） 刈谷駅北口広場花植（いきいき刈谷友の会）		・中心市街地活性化推進団体に対し、補助金を交付 中心市街地活性化委員会運営他（刈谷商工会議所） ワークショップ運営（刈谷駅前商店街、NPO法人かた〜ら） 刈谷駅北口広場花植（いきいき刈谷友の会）		・中心市街地活性化推進団体に対し、補助金を交付 中心市街地活性化委員会運営他（刈谷商工会議所） ワークショップ運営（刈谷駅前商店街） 刈谷駅北口広場花植（いきいき刈谷友の会）		・中心市街地活性化推進団体に対し、補助金を交付 中心市街地活性化委員会運営他（刈谷商工会議所） ワークショップ運営（刈谷駅前商店街） 刈谷駅北口広場花植（いきいき刈谷友の会）	
成果		・ソフト事業を中心にワークショップなどの各種事業を実施し、地域住民の参加や協働意識を高めることができた。							
課題		・まちの様々な主体が、まちづくりに関心を持ち自主的な活動を展開及び持続するためには、自立した組織および人材の育成が課題である。							
O実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
	活動指標	ワークショップ等参加延べ人数（人）			1,750	1,690	1,790	1,750	1,800
	成果指標	ボランティアや地域活動、自主活動などに参加したことの市民の割合（%）			41.7	—	40.0	46.0	47.6
他市との比較検証	・近隣5市においては、刈谷市と安城市が実施している。								
C事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		1,892	1,541	1,400	1,440	合計 1,400,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,400,000円		
		一般財源	1,892	1,541	1,400	1,440			
	職員人件費②		5,659	3,507	2,816	2,246			
	総事業費（①+②）		7,551	5,048	4,216	3,686			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		—					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			中心市街地活性化推進団体支援事業	担当部	都市整備部
一般会計				担当課	まちづくり推進課
款	項	目		担当係	まちなか活性化係
7	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	中心市街地活性化には、まちの魅力や活力及び付加価値を高めることにより、まちなかに居住者や来街者を増やし賑わいを作る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	中心市街地活性化を推進する事業に対し補助することにより、各団体が中心市街地の活性化を主体的に取り組むことができ、まちの魅力や活力を高め、賑わい創出の効果を生み出す。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	中心市街地活性化は、行政、商業者、住民等の多様な主体による地道な取り組みが求められる。行政からも支援をする必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	まちの顔となる中心市街地における魅力や活力を高めるために、中心市街地のまちづくり活動やイベントの開催支援が必要であり、その実現に寄与する事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・中心市街地活性化推進団体が実施するワークショップなどを中心としたまちづくり活動と花いっぱい運動などのソフト事業を持続的に支援することにより、より多くの地域住民の参加や協働意識を高めることができ、中心市街地の賑わい創出及び安心して快適に生活できるまちを目指します。					

会計名			密集市街地調査事業				担当部	都市整備部	
一般会計							担当課	まちづくり推進課	
款	項	目					担当係	まちなか活性化係	
8	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	市街地の整備・改善						
	目的	都市防災の観点から、住民参加による密集市街地解消に向けた検討を行い、安全で快適なまちづくりを推進する。 災害危険度判定調査結果を踏まえ、地区の現状を把握することにより、災害に備えた防災まちづくりの必要性の認識を高める。			主たる内容	○防災まちづくり勉強会の実施 ○災害危険度判定調査の実施 ○防災まちづくり方針の検討			
	位置づけ	関連計画 都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン 根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	平成24年度～平成27年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・まちづくり活動の実施 実施場所 東境町（児山高山地区） ・まちづくり説明会の開催 開催数 2回 ・まちづくり勉強会の開催 開催数 7回 ・まちづくりだよりの発行 発行数 5回		・まちづくり活動の実施 実施場所 東境町（児山高山地区） ・まちづくり勉強会の実施 開催数 10回 ・まちづくりだよりの発行 発行数 9回 ・まちづくりルール案の作成		・新重点密集市街地の設定基準による災害危険度判定調査の実施		・調査結果を踏まえた課題の共有化 ・防災まちづくりに関する情報提供 ・防災まちづくり方針の検討	
		成果	・都市計画基礎調査データを活用し、都市防災実務ハンドブックに基づき、地区ごとの災害危険度判定を実施することができた。						
課題		・調査結果のまとめに時間を要した。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標	密集市街地解消に向けたまちづくり活動実績地区数（地区）		3	3	3	3	4		
成果指標	災害に強いまちと思う市民の割合（%）		50.4	—	55.9	60.0	64.0		
他市との比較検証	・近隣5市においては、刈谷市と安城市が実施している。 ・西三河9市では、豊田市（5地区）も実施している。								
C 事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,048	2,048	2,732	3,500	合計	2,732,400 円	
	財源	特定財源	1,000	1,000	800	1,100	委託料	2,732,400 円	
		一般財源	1,048	1,048	1,932	2,400			
	職員人件費 ②		4,244	3,507	2,112	2,246			
	総事業費（①+②）		6,292	5,555	4,844	5,746			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金（国）					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			<p style="text-align: center;">密集市街地調査事業</p>	担当部	都市整備部
一般会計				担当課	まちづくり推進課
款	項	目		担当係	まちなか活性化係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	道路幅員が狭く、防災安全面や生活環境面で多くの課題を抱える密集市街地の住環境整備は、地区や住民にとって喫緊の課題であり、その必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	早期に地元との合意形成を求められる中で、計画的な地元調整を図る必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	市民が主体となり、安全で良好な住環境整備を推進する必要性が高い事業であり、円滑な事業推進を図るためには、専門知識や情報提供など、市の関与も必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	住民意識の向上に寄与しており、安心して良好な住環境の形成に貢献するものである。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ 調査結果を踏まえ、住民の防災意識をより高めることができるよう、広く周知する方法を検討する。					

会計名			拡大市街地整備事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	まちづくり推進課		
款	項	目					担当係	土地利用計画係		
8	4	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	市街地・住環境							
		施策の内容	計画的な土地利用							
	目的	都市計画マスタープランに拡大市街地として位置づけた地区において、住工混在地区の工場移転や新規産業立地のため工業系新市街地を創出する。また、増加する人口の定住化を促進するため住居系新市街地を創出する。		主たる内容	○依佐美地区における調査等の実施 ・事業計画素案作成 ・関係機関調整資料作成 ・地区計画作成 ・不動産鑑定 ○小垣江町北部地区における調査等の実施 ・事業化検討調査 ・事業計画素案作成					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン							
		根拠法令	都市計画法							
		対象者	地元関係者、関係権利者		事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		(住居系拡大市街地整備事業にて実施) 《依佐美地区》 ・事業手法、合意形成方法検討 《小垣江町北部地区》 ・関係権利者へのアンケート調査実施		(住居系拡大市街地整備事業、工業系拡大市街地整備事業を統合) 《依佐美地区》 ・自然環境調査 ・土地履歴利用調査 ・企業需要調査 《小垣江町北部地区》 ・整備手法検討調査		《依佐美地区》 ・事業計画素案作成 《小垣江町北部地区》 ・事業化検討調査		(拡大市街地整備事業を拡大市街地調査推進事業に名称変更) 《依佐美地区》 ・関係機関調整資料作成 《小垣江町北部地区》 ・事業計画素案作成		
成果		《依佐美地区》事業実施の判断の要素となる事業規模等の調査検討をすることができた。 《小垣江町北部地区》事業実施への影響を把握する概略調査として、自然環境等のリスク調査をすることができた。								
課題		《依佐美地区》関係機関等との協議調整及び関係権利者の合意形成を図るための方策について、関係部署と連携し検討する必要がある。 《小垣江町北部地区》関係機関等との協議調整及び関係権利者の合意形成を図るため、関係部署と連携し事業規模、事業手法の調査検討をする必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
成果指標		刈谷市人口（人） 基準日：年度末時点		146,690	147,365	148,419	154,000	156,000		
成果指標		製造品出荷額等（億円） （※最新実績は翌年2月頃確定予定）		15,189	17,389	—	17,200	17,400		
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト V		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	6,290	9,979	7,400	合計	9,979,200 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	9,979,200 円		
		一般財源	0	6,290	9,979	7,400				
	職員人件費 ②		0	4,909	4,928	5,240				
	総事業費（①+②）		0	11,199	14,907	12,640				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			拡大市街地整備事業	担当部	都市整備部
一般会計				担当課	まちづくり推進課
款	項	目		担当係	土地利用計画係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	今後も増加する人口の定住化の促進や活発な産業活動を支えるために、新市街地創出により生み出される土地に対するニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	まちづくりの早期実現に向けては、権利者、関係者と共に効率的に進めることが必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	第7次総合計画及び第3次都市計画マスタープランに位置づけられた本市の目指すべき都市構造を実現するための、必要性の高い事業である。また、まちづくりを円滑に進めるには、まちづくりの情報提供や専門知識など市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	目指すべきまちづくりの方向性に合致した事業計画を検討することは、施策への貢献度が高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
本市が目指す将来のまちづくりの方向性を見据え、都市計画の構想段階として新市街地の創出の検討、調査と併せて、関係部署と連携して関係権利者との合意形成を図りながら今後も進めていく必要がある。					

会計名			南桜町地区優良建築物等整備事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	まちづくり推進課		
款	項	目					担当係	まちなか活性化係		
8	4	8								
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	市街地・住環境							
		施策の内容	計画的な土地利用							
	目的	市の玄関口としてふさわしい安全で快適なゆとりある駅前空間の整備と、商業・業務施設と良好な市街地住宅を整備することで、駅前の活気と賑わいづくり、まちなか居住の推進、定住人口の増加を図る。		主たる内容	○民間事業者が行う優良建築物等に対する補助 ・補助内容：共同施設整備費の2/3 ・施行箇所：南桜町一丁目 ・事業区域面積：約0.33ha ・延床面積：約19,000㎡ ・建物構造：RC造 地上23階 ・建物構成：商業・業務（1～4階） 住宅（5～23階、129戸） ・完成予定：平成28年8月					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン、中心市街地活性化基本計画							
			根拠法令	刈谷市優良再開発型優良建築物等整備事業補助金交付要綱						
		対象者	事業者	事業期間	平成25年度～平成28年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実 施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		_____		・調査設計、土地整備、建築工事（共同施設）に対し、補助金を交付		・調査設計、土地整備、建築工事（共同施設）に対し、補助金を交付		・調査設計、土地整備、建築工事（共同施設）に対し、補助金を交付		
成果		・適正に補助金を交付し、建築工事を順調に進捗させることができた。								
課題		_____								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
活動指標	事業進捗率（％）		—	13.3	38.9	73.8	100			
成果指標	建物建設によって増加する人口（人）		—	—	—	—	310			
他市との比較検証	・刈谷市において、4地区目の実施となる。 ・県内における事業実績（実施中含む）地区数（平成26年度末現在） 刈谷市5 豊田市1 岡崎市2 東海市1 北名古屋市2 豊橋市9 名古屋市30 計7市50地区									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	76,400	147,200	200,400	合計 147,200,000 円			
	財源	特定財源	0	57,300	110,400	150,300	負担金、補助及び 交付金 147,200,000 円			
		一般財源	0	19,100	36,800	50,100				
	職員人件費 ②		0	2,104	1,760	1,871				
	総事業費（①+②）		0	78,504	148,960	202,271				
建設 事業	全体事業費（単位：千円）		574,800		26年度特定財源名称					
	26年度までの累積事業費		223,600		社会資本整備総合交付金（国）、市街地再開発事業等補助金（県）					
	28年度以降の事業費見込		150,800							

会計名			南桜町地区優良建築物等整備事業	担当部	都市整備部
一般会計				担当課	まちづくり推進課
款	項	目		担当係	まちなか活性化係
8	4	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	有効・高度利用により供給される住宅による、まちなか居住のニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	まちづくりの早期実現に向けては、権利者、関係者と共に効率的に進めることが必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	総合計画、都市計画マスタープランに位置付けられた本市の目指すべき都市構造を実現するために必要性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	本市の目指すべきまちづくりの方向性に合致した事業計画を検討することは施策への貢献度が高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
本市が目指す将来のまちづくりの方向性を見据え、市の玄関口としてふさわしい安全で快適なゆとりある駅前空間に、良好な市街地住宅を整備することで、駅前の活気と賑わいを作り、まちなか居住の推進と定住人口の増加を図る。					

会計名		東陽町地区優良建築物等整備事業				担当部	都市整備部		
一般会計						担当課	まちづくり推進課		
款	項					目	担当係	まちなか活性化係	
8	4					8			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	住環境の充実						
	目的	老朽化した店舗兼県営住宅を取り壊し、住商の再整備等による良好な市街地環境の一体的かつ面的整備を推進することにより、土地の有効・高度利用を図り、まちなか居住の推進、定住人口の増加を図る。		主たる内容	○民間事業者が行う優良建築物等に対する補助 ・補助内容：共同施設整備費の2/3 ・施行箇所：東陽町三丁目 ・事業区域面積：約0.14ha ・延床面積：約4,400㎡ ・建築構造：RC造 地上14階 ・建物構成：住宅（39戸） ・完成予定：平成28年10月				
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン、中心市街地活性化基本計画						
			根拠法令	刈谷市優良再開発型優良建築物等整備事業補助金交付要綱					
		対象者	事業者	事業期間	平成26年度～平成28年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
						・調査設計、土地整備費に対し、補助金を交付		・調査設計、建築工事（共同施設）に対し、補助金を交付	
成果		・適正に補助金を交付し、遅滞なく計画的に事業の進捗を図ることができた。							
課題		・関係機関との協議に時間を要した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標	事業進捗率（％）			—	—	12.1	63.7	100	
成果指標	建物建設によって増加する人口（人）			—	—	—	—	100	
他市との比較検証	・刈谷市において、5地区目の実施となる。 ・県内における事業実績（実施中含む）地区数（平成26年度末現在） 刈谷市5 豊田市1 岡崎市2 東海市1 北名古屋市2 豊橋市9 名古屋市30 計7市50地区								
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	18,800	79,600	合計 18,800,000円		
	財源	特定財源	0	0	14,100	59,700	負担金、補助及び交付金 18,800,000円		
		一般財源	0	0	4,700	19,900			
	職員人件費②		0	0	2,112	1,871			
	総事業費（①+②）		0	0	20,912	81,471			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		154,400		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		18,800		社会資本整備総合交付金（国）、市街地再開発事業等補助金（県）					
28年度以降の事業費見込		56,000							

会計名			東陽町地区優良建築物等整備事業	担当部	都市整備部
一般会計				担当課	まちづくり推進課
款	項	目		担当係	まちなか活性化係
8	4	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	有効・高度利用により供給される住宅による、まちなか居住のニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	まちづくりの早期実現に向けては、権利者、関係者と共に効率的に進めることが必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	総合計画、都市計画マスタープランに位置付けられた本市の目指すべき都市構造を実現するために必要性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	本市の目指すべきまちづくりの方向性に合致した事業計画を検討することは施策への貢献度が高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
本市が目指す将来のまちづくりの方向性を見据え、住商の再整備等による良好な市街地環境の一体的かつ面的整備を推進することにより、土地の有効・高度利用を図り、まちなか居住の推進、定住人口の増加を図る。					

会計名			銀座A B地区整備事業				担当部	都市整備部			
一般会計							担当課	まちづくり推進課			
款	項	目					担当係	まちなか活性化係			
8	4	8									
PLAN A N ハ 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	市街地・住環境								
		施策の内容	住環境の充実								
	目的	中心市街地として相応しい土地の有効・高度利用の推進を図るため、民間活力を活用した都市基盤の再生及び魅力ある土地利用を推進する。			主たる内容	○銀座A B地区の整備改善に係る検討（事業者の公募・選定、アドバイザー業務） ○移転対象物件調査 ○建築物等の移転補償 ○民有地の取得 ○定期借地制度による民間活力を活用した施設を整備 ○施設整備を行う民間事業者に対して補助金を交付					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、中心市街地活性化基本計画								
		根拠法令									
		対象者	事業者、権利者			事業期間	平成26年度～平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O ハ 実 施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画			
		_____		_____		・公募型プロポーザルの実施 ・事業者の選定 ・用地測量、物件査定の実施 ・事業用地の取得		・事業者との基本協定締結 ・事業計画書策定			
成果		プロポーザル事務を計画的に進め、円滑に審査会を開催し、事業者を決定することができた。									
課題		補助金事務の事前協議に時間を要した。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
成果指標	当地区における低未利用地の割合（%）			44.0	44.0	44.0	44.0	44.0			
成果指標	建物建設によって増加する人口（人）			—	—	—	—	—			
他市との比較検証	刈谷市独自の事業である。										
C 事 業 コ ス ト 建 設 事 業	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	65,233	65,710	合計 65,232,900 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 30,400 円				
		一般財源	0	0	65,233	65,710	委託料 6,260,500 円				
	職員人件費 ②		0	0	5,984	4,866	公有財産購入費 24,619,000 円				
	総事業費（①+②）		0	0	71,217	70,576	補償、補填及び賠償金 34,323,000 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称					
26年度までの累積事業費		0		_____							
28年度以降の事業費見込		0									

会計名			銀座AB地区整備事業	担当部	都市整備部
一般会計				担当課	まちづくり推進課
款	項	目		担当係	まちなか活性化係
8	4	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	土地の有効・高度利用及び中心市街地活性化に寄与する施設整備は、市民ニーズが高く、市民生活上においても必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	まちづくりの早期実現に向けて、権利者、関係者と共に効率的に進めることが必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	総合計画、都市計画マスタープランに位置付けられた本市の目指すべき都市構造を実現するためには、市が主体的に実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	本市の目指すべきまちづくりの方向性に合致した事業計画を検討することは施策への貢献度が高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
本市が目指す将来のまちづくりの方向性を見据え、中心市街地として相応しい土地の有効・高度利用を図るため、民間活力を活用した都市基盤の再生及び魅力あるまちづくりを推進する。					

会計名			都市計画基礎調査事業				担当部	都市整備部		
一般会計							担当課	まちづくり推進課		
款	項	目					担当係	土地利用計画係		
8	4	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	市街地・住環境							
		施策の内容	計画的な土地利用							
	目的	都市計画基礎調査は、都市計画法第6条に基づき都市計画区域について、おおむね五年ごとに調査を行い、人口、産業、土地利用、交通量などの現状及び将来の見通しを定期的に把握する。				主たる内容	○愛知県都市計画基礎調査要綱に規定された調査項目 ・調査区 ・人口規模 ・土地利用 ・建築物の用途、構造、建築面積及び面積 ・宅地開発の状況及び建築の動態			
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン							
			根拠法令	都市計画法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和48年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		・建物利用現況調査 ・地区別新築状況調査		・土地利用現況（土地利用別面積）調査		・宅地開発状況調査 ・市街化調整区域内開発状況調査		_____		
成果		・市内の宅地開発状況と市街化調整区域内開発状況を把握することができた。								
課題		・本市の現状などを調査した都市計画基礎調査は、まちづくりの検討に活用していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標	調査進捗率（%）（調査期間：平成23年度～平成26年度）			57	71	100	—	—		
指標										
他市との比較検証	県内市町村は、愛知県都市計画基礎調査要綱に規定された同一の調査項目を調査している。									
C コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①		4,732	2,259	1,177	0	合計	1,177,200円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,177,200円		
		一般財源	4,732	2,259	1,177	0				
	職員人件費②		1,768	1,753	1,760	0				
	総事業費（①+②）		6,500	4,012	2,937	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名		都市景観推進事業				担当部	都市整備部		
一般会計						担当課	まちづくり推進課		
款	項					目	担当係	総務係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	まちなみ・景観の充実						
	目的	刈谷市の美しい景観創出に繋げるために都市景観に対する市民意識の高揚を図り、市民の手による都市景観づくりを推進する。			主たる内容	○「かりや景観づくり講座」の開催 ○「かりや景観れぼーと」の発行			
	位置づけ	関連計画	都市景観基本計画、都市計画マスタープラン						
		根拠法令	景観法						
		対象者	市民	事業期間	平成4年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・かりや景観づくり講座の開催 開催日 H24.11.17 場所 近江八幡市 内容 景観の見方 参加者数 39人 ・かりや景観れぼーとの発行 A3サイズ2つ折、カラー、全戸配布		・かりや景観づくり講座の開催 開催日 H25.11.16 場所 可児市、多治見市 内容 住民主体の景観まちづくり 参加者数 39人 ・かりや景観れぼーとの発行 A3サイズ2つ折、カラー、全戸配布		・かりや景観づくり講座の開催 開催日 H26.11.1 場所 滋賀県彦根市 内容 景観とまちづくりルール 参加者数 40人 ・かりや景観れぼーとの発行 A3サイズ2つ折、カラー、公共施設配架		・かりや景観づくり講座の開催 開催日 H27.10.31 場所 京都府宇治市 内容 景観まちあるき 参加者数 40人予定 ・かりや景観れぼーと作成	
成果		・景観講座の開催及び景観れぼーとの発行により、市民の景観に対する意識の高揚の一助とすることができた。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標		参加申込者数（人）		69	39	68	60	60	
成果指標		講座参加者満足度（%）		73.7	87.1	76.5	80.0	80	
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		1,674	1,613	1,568	2,191	合計	1,568,151円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	35,720円	
		一般財源	1,674	1,613	1,568	2,191	委託料	1,532,431円	
	職員人件費②		2,122	2,104	2,112	2,246			
	総事業費（①+②）		3,796	3,717	3,680	4,437			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							